

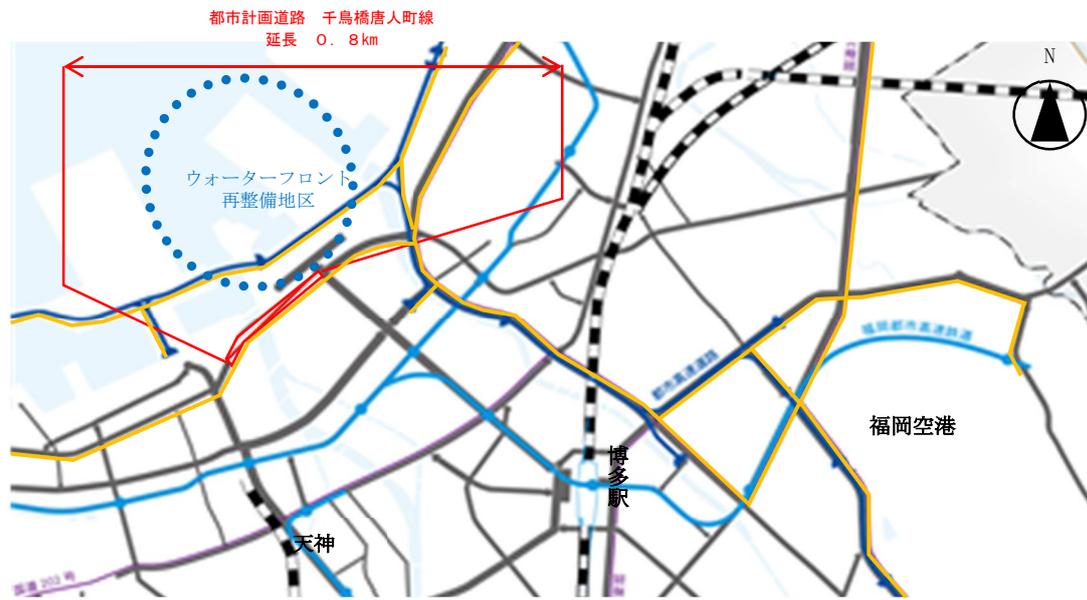
再評価結果（令和7年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課

担当課長名：青柳 太

事業名	重要物流道路 都市計画道路 千鳥橋唐人町線		事業区分	街路	事業主体	福岡市
起終点	自：福岡市博多区石城町 至：福岡市中央区那の津				延長	0.8 km
事業概要	都市計画道路千鳥橋唐人町線は、福岡市中心市街地の東西方向を結ぶ幹線道路であり、都市交通を形成する重要な路線であるが、当該路線のうち那の津大橋のみボトルネックとなっていることから、交通の円滑化やアクセス向上を目的として整備を行うものである。					
R2年度事業化	S21年度都市計画決定 (H29年度変更)		- 年度用地着手		R3年度工事着手	
全体事業費	約91億円		事業進捗率	約2%	供用済延長	-km
計画交通量	30,500~56,000台/日					
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年
	1.6		64 / 66 億円	103 / 103億円		
	2.5 [2%] 3.3 [1%] (残事業)	6.1%	事業費：64/66 億円 維持管理費：0.09/0.09億円 更新費：0 / 0 億円	走行時間短縮便益：99 / 99億円 走行経費減少便益：4.1 / 4.1億円 交通事故減少便益：0.22 / 0.22億円		令和6年
	1.6 2.6 [2%] 3.4 [1%] (参考)	(残事業)	感度分析			
		6.3%	(事業全体)	交通量	B/C=1.4~1.7(±10%)	交通量
			事業費	B/C=1.4~1.7(±10%)	事業費	B/C=1.5~1.8(±10%)
			事業期間	B/C=1.4~1.6(±20%)	事業期間	B/C=1.4~1.6(±20%)
事業の効果等	重要物流道路に指定されているが、事業区間内に位置する那の津大橋が特殊車両の通行条件（重量）がC条件である。そのため、橋梁の架替によりB条件以上に改良するとともに、計画6車線に拡幅することで重要物流道路としての機能強化を図り、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保する。 ・当該道路及び周辺道路の渋滞緩和に寄与する。 ・市内の拠点地域間のアクセス向上により、地域間の交流・連携が図れる。 ・自転車通行空間の整備により、歩行者と自転車の安全性を高める。					
関係する地方公共団体等の意見	特になし。					
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得なし、事業進捗率約2%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後は早期完了を目指し橋梁工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等	新技術、新工法の採用等による工事コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)